

安全就業 ハンドブック



『安全は全てに優先する』

〈連絡先〉

平日9:00~17:00 03-3982-9533
上記以外 03-5305-3472

()	連絡先
() (続柄)	氏名
緊急連絡先	
医療機関 連絡先:	かかりつけ 病棟名:
持病名	持病名
血液型 A・B・O・AB (RH+)	生年月日
年 月 日	TEL () ()
住所	氏名

転倒事故

転倒事故を引き起こす要因

環境の要因

- 階段などの段差によるつまずき
- 雨や雪などの悪天候によるスリップ
- 早朝や夜間などの暗い時間帯



身体の要因

- 加齢による身体機能の低下
- 転倒につながりやすい疾患
- 薬による副作用



転倒事故の予防

- 作業に合った動きやすい服装や靴を履く
- 加齢を認識し、時間に余裕をもって行動する
- 降雪後などの路面が凍結しているときは、滑りにくい靴を履く

熱中症

熱中症を引き起こす3つの要因



熱中症の予防

- こまめに水分をとる
- 塩分をほどよくとる
- 温度と湿度に気をつける
- 日差しを避ける
- 飲み物を落ち歩く
- 休憩をこまめに取る

自転車事故

【高齢者交通安全五則】

ま 待つ

安全が十分に確認
できるまで待つ

み 見る

周囲の状況を
よく見る

む 無理せず
止まる

交差点などでは
無理せず止まる

め 目立つ

反射材用品を
着用して目立つ

も もっと
知る

自分の身体機能の
変化をもっと知る



★自転車保険への加入は義務となっています。

家族との連絡手段

災害用伝言ダイヤル171

固定電話や携帯電話の電話番号宛に
安否情報(伝言)を音声で録音し、全
国からその音声を確認できます。

- 171をダイヤル
- ガイダンスに従って、録音は1を、
再生の場合は2をダイヤル
- ガイダンスに従って、連絡を取りた
い方の電話番号をダイヤル。(市外
局番から)
- 伝言を録音・再生できる。

※詳細はホームページを
ご確認ください。



転倒しにくい 体づくり!

今すぐ始める高齢者向け筋トレ

👉 高齢者向け筋トレのポイント

- 体調に合わせて、決して無理をしない
- 毎日1種類ずつ、1週間で全7種
- ウォーミングアップとトレーニング1種類の組み合わせで行う
- 時間帯は15時ごろから夕食の間、または夕食と就寝の間が効果的
- 少しずつ、毎日続ける



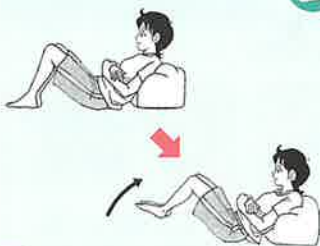
出典：加藤浩人著 生涯現役のための筋トレ



4 ランジ運動 (レッグ・ランジ)

- 部位**：太もも全般、特にももの内側
効果：足首の固定力、バランストレーニングにもなる
方法：足は肩幅、右足を1歩前に
 ▶ 胸を張って腰を落とす
 ▶ 右足を床を蹴って元の直立姿勢に戻る
 これを左右で5～10回くり返す
ポイント：膝とつま先が同じ方向を向いていること

木



5 下腹部の運動

- 部位**：腹筋、股関節を曲げるときに使う筋肉
効果：きびきびとした歩き方になり、つまづきにくくなる
方法：背にクッションをあてて仰向けに寝る
 ▶ 両手を胸の前で組み、膝を直角に曲げ足を床に着ける
 ▶ ゆっくり息を吐きながら足を床から15～30cm上げる
 ▶ ゆっくり息を吸いながら足をもとの位置に戻す
 これを10～15回くり返す
ポイント：太ももの筋肉も意識する、足を上げているときに息を止めない

金



6 体ひねり バランストレーニング

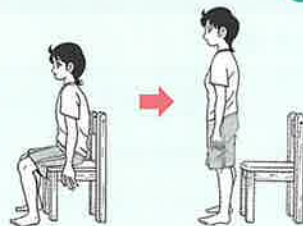
- 部位**：股関節の内転筋、バランス能力
効果：片足の姿勢でも安定して立てる
方法：片足を前に踏み出し、両腕を伸ばし前で組む
 ▶ 体を大きく右にひねり、次に左にひねる
 ▶ 左右の足を入れ替え同じ動作を10回くり返す
ポイント：左右とも自然な呼吸を心掛ける

土



7 継ぎ足歩き バランストレーニング

- 部位**：脚部、バランス能力
効果：バランスをとりづらい姿勢で、非常に小さな歩幅で歩くことにより、通常の歩行時にまっすぐ歩けるようになる
方法：左足と右足を前後にくっつけ、小さな歩幅で10歩ほど歩く
ポイント：足の運び図を参照



1 椅子スクワット運動

- 部位**：太ももの表側筋肉を中心に足腰全体
効果：階段の昇り降りが今より楽に！
方法：車輪なしのイスに深く腰掛ける
 ▶ まっすぐ立ち上がる(息吐く)
 ▶ すぐに座る(息吸う)
 これを10～15回くり返す
ポイント：目線は正面をしっかり維持し、うつむかない

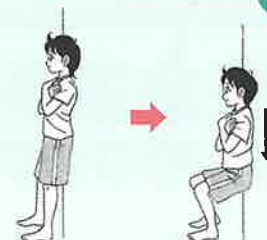
月



2 つま先立ち運動

- 部位**：ふくらはぎの筋肉
効果：歩く時の蹴る力が強くなり、速く力強い歩き方に！
方法：車輪なしのイスの背側に立ち、両手で背もたれをつかむ
 ▶ 膝を伸ばしたまま、背伸びををする(息吐く)
 ▶ かかとを下げる(息吸う)
 これを10～15回くり返す
ポイント：正面を向き、できるだけ大きく上下動

火



3 ウォールスライド運動

- 部位**：太もも、お尻を中心に足腰全体
効果：階段の昇り降りが今より楽に！
方法：両腕を胸の前で組み、両足は肩幅に開き、壁から30～40cm離れて壁に寄り掛かる
 ▶ 膝をゆっくり直角手前まで曲げる(息吐く)、ゆっくり立ち上がる(息吸う)
 これを10～15回くり返す
ポイント：壁から離れすぎない、正面を見る、うつむかない

水